

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	トヨタカローラ山形株式会社
実習期間	平成 30年 2月 13日 ～ 平成 30年 2月 23日
学生氏名	上山洸樹
実習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・オリエンテーション(自己紹介、実習での目標について) ・グループワーク(自動車営業とトヨタカローラ山形のイメージについて) ・入社二年目のスタッフと対談 ・オフィス内見学 ・朝礼に参加 ・担当スタッフの方とお客様宅を訪問 ・お客様との商談を見学 ・閉講式
学び・気づき (300字程度)	<p>実習前は営業という仕事はお客様に嫌な顔をされるものだと思っていたが、実際に現場に行くとそんなことはなく、お客様から受け入れられていた。三日目には実際にお客様が新車購入を決めた瞬間に立ち合わせていただき、とても緊迫した雰囲気だったが、購入が決まると担当者の方とお客様の顔から笑顔がこぼれ、一緒にいた私まで朗らかな気持ちになった。やはり売る側と買う側が満足のいく結果になったときにこの仕事のやりがいや達成感を感じるということを手を持って体験することができて良かった。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>もし、この先私がこの職業に就きたいと考える場合、私には主体性や傾聴力、自己表現力が足りない。これらの力は仕事の効率化やお客様との信頼関係を築いていくためには欠かすことのできない。なので、これからの学校生活やアルバイト、部活動などで私自身の課題として生活していきたい。そして、日本の先進産業である自動車業界の今後に注目し、気になることは積極的に調べて知識を深めていきたい。</p>
インターンシップ をして気づいた、 実習先の魅力 (300字)	<p>実習を通してトヨタカローラ山形株式会社の一番の魅力は完全テリトリー制度だと感じた。なぜなら、各店舗の担当エリアごとに約500人のお客様を受け持ち、アフターサービスとお車の提案活動を行うことができるので、訪問先に悩むことがないことやお客様と担当者との間に強い信頼関係を築くことができるからだ。また、企業の社員に対する福利厚生がしっかりしていて、社員旅行や店舗対抗の運動会、サークル活動、研修施設、社員寮などの様々なイベントやサポートがあることも魅力の一つだと感じた。休みに関しても、月曜日定休で年末年始やゴールデンウィークなどの長期休暇が充実しており、家族や友人と旅行や遊びにでかけることもできる。</p>
写真 (1～3点)	

(別紙12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	トヨタカローラ山形株式会社
実習期間	平成 30年 2月 13日 ～ 平成 30年 2月 14日 平成 30年 2月 21日 ～ 平成 30年 2月 23日
学生氏名	淀川倫太郎
実習プログラム	インターン初日と2日目はトヨタカローラ山形の本社で行い、残りの3日はトヨタカローラ山形山居町店で行った。 ・他大学の学生とのグループワーク(トヨタカローラ山形のイメージ、自動車販売に対するイメージ) ・各部所に配属され担当の方との実習開始 ・朝礼、営業、保険の見直し、保険の勉強、お客様の家に行きアフターサービス、部所内会議、店舗に来店されたお客様の対応など。
学び・気づき (300字程度)	今回のインターンでは営業において大切なことを学びました。 営業とは、取引先やお客様を第一に知ろうとすることが大切であり、これがコミュニケーション力に繋がることをまなびました。 取引先やお客様の事を知ることによって会話の幅も広がり、お互いに楽しく会話をする事が出来ます。これがお客様の安心感、信頼感に繋がっているのだと感じることが出来ました。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	社会人になった際に、今回トヨタカローラ山形株式会社のインターンシップで学んだコミュニケーション力を活かし、積極的に会話することによって仕事の幅を広げて行きたいと思えます。 また、今のアルバイト先でもお客様と積極的に会話をする事によって、今回学んだことをしっかりと自分のスキルとして身につかせたいです。
インターンシ ップをして気づ いた、実習先の 魅力 (300字)	トヨタカローラ山形株式会社は営業に置いて完全テリトリー制という制度を設けており、一人一人担当する地域が決められていました。 この制度によってお客様との溝を狭めることができ、お客様一人一人を大切にすることが出来ます。他社の営業等は飛びこみ営業等が主となり、契約を貰った後の対応が疎かになりがちですが、完全テリトリー制を設けることによってアフターフォローなどをしっかりと行うことができ、お客様にも信頼してもらえるのです。 今回のインターンシップではトヨタカローラ山形株式会社がどれだけお客様を大切にしているかを知ることが出来ました
写真 (1～3点)	

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

実習企業・機関	トヨタカローラ山形株式会社
実習期間	平成 29 年 2 月 21 日 ~ 平成 29 年 2 月 25 日
学生氏名	三 部 歩
実習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃 ・ 接客同行 ・ 外回り ・ ふれあい塾参加(3年生を対象としたインターンシップ) ・ 新人研修見学(2017年生)
学び・気づき	<p>この5日間、大変貴重な体験をさせていただき、有意義な時間を過ごすことができた。わずか5日間ではあったがこの充実した日々、社会にでるということがどういうことなのか、働くとはどういうことなのかを垣間見ることができた。</p> <p>一番印象に残っているのは、お客様からトヨタカローラ山形という会社や、担当の方についてお話を伺ったことである。お客様の自宅から営業所が多少遠くても、多少高くてもその人柄を頼って担当してもらいたいというお話を伺い、この仕事のやりがいはこういうところにあるのだと実感した。トヨタというブランドとしての安心感と信頼のおける担当者との関係があり、何かあればすぐ相談できる、電話できる関係を築いていてこそこのしごとなのだと感じることもできた。</p>
今後に向けた 抱負	<p>今回実習中に多くの方と関わる中で、コミュニケーションの大切さを身をもって感じたがまだまだその能力が十分ではないと感じた。私はお客様とお話する機会が何度かあったが、話に詰まってしまったり、うまく話題を振ることができなかった。一步踏み込んだ話や話題探しがもっと上手にできるように、会話の手掛かりがもっと上手に見つけられるように、新聞を読む習慣をつけ時事を知ったり、幅広い分野に興味をもって知識を増やしていきたい。また、今後は会話の中でいろいろな言葉から思考を巡らせて、話題を見つける努力をしようと思う。ただ、何より会話の中で大切なのは相手の目を見て笑顔で接することだと感じたので、そこも意識しながら向上させていきたいと思う。</p>
インターンシッ プをして気づい た、実習先の魅力	<p>今回トヨタカローラ山形が主催しているインターンシップにも参加させていただき、この仕事の魅力ややりがいを知ることができた。改めてインターンシップの重要性に気づくことができ、またふれあい塾で参加者とともに学びを共有したことで理解も深まったと感じる。</p> <p>トヨタカローラ山形ではインターンシップや新人研修に力を入れており、入社3年後の定着率が90%以上という実績がある。</p> <p>インターンシップでは実際に現場の人の声を聴ける貴重な機会でもあるので、インターンシップへの参加を強く勧めたい。</p>